



みんなちがって、みんないい！

人権講演会

平成 28 年度人権講演会が 12 月 4 日、文化会館で開催され、約 200 人が集まりました。この講演は、市民への人権啓発を目的として毎年人権週間にあわせて開催されています。

松浦市・平戸市内の中学生 3 人による人権作文の発表が行われた後、歌手で作曲家のちひろさんを講師に招いて「ちひろトーク&コンサート ～金子みすゞの心・マザーテレサのメッセージ～」と題し、金子みすゞの詩に曲をつけた歌などを交えながら人権の大切さについて話がありました。

参加者たちは、ちひろさんの美しい歌声、その詩に込められた思いなどを考えながら熱心に聞き入っていました。



大しめ縄に願いを込めて

笛吹神社の大しめ縄張り

笛吹神社の例大祭が 12 月 6 日に行われ、笛吹地区に江戸時代から伝わる伝統行事の大しめ縄張りが奉納されました。

今年は、笛吹の鳥渡馬伏地区から約 30 人の住民が稲わらを持ち寄り、境内で午前 8 時から約 4 時間かけて長さ約 7m、直径約 60cm、重さ約 300kg の大しめ縄を作りました。

完成した大しめ縄は、鳥居の側に立つ 2 本のマキの木の間に張られ、ずしりとぶら下がったしめ縄に、住民たちは地域の無病息災と五穀豊穡の願いを込めました。



五穀豊穡を願って

白浜神社大祭

白浜神社の秋の大祭が 12 月 2 日に開催され、今年の豊作を感謝し、来年の豊作を祈願する「的打ち」と「稲舞」が奉納されました。

的に当たった矢の数で来年の豊凶を占う「的打ち」。中川明宏宮司が神殿の天井二隅に取り付けられたワラで作った直径約 50cm の的をめぐらして 3 本ずつ矢を放ちました。

また、「稲舞」では、今年収穫した稲穂の束を石本眞大君（志佐小 5 年）が担いで、中川宮司と一緒に舞を奉納。その稲の穂を集まった氏子など約 50 人に配り、来年の豊作を祈願しました。



大盛況！松浦特産のおいしいメロン

松浦アールスメロンまつり

毎年恒例の松浦アールスメロンまつり（JA ながさき西海松浦メロン部会主催）が 12 月 4 日、道の駅松浦海のふるさと館で開催され、市推奨特産品のアールスメロンの販売が行われました。

この日準備されたアールスメロンは 320 ケース。今年は悪天候が続いたため生育が心配されましたが、生産者のこれまでの経験と技術で玉太りも良く甘さも十分に素晴らしい仕上がりとなりました。

会場には販売開始から旬のおいしい松浦特産のアールスメロンを買い求める大勢の買い物客でにぎわいました。



Happy New Year

— あけましておめでとうございます —



パトリック・マグワイヤ
Patrick Maguire
オーストラリア出身

年末から年始にかけての休暇は、お互いの1年間の出来事を報告し合ったり、新しい年を祝ったりして家族で過ごす大事な時間だと思います。私は、今回の休暇はオーストラリアに帰国して、家族と共に過ごすことにしました。

実家で迎えるクリスマス当日の朝は、おいしい料理の匂いとプレゼントを開けるといワクワクした気分で目が覚めます。祖母が朝早くからクリスマスのごちそうを作ってくれて、ローストしたラム肉やハム、チキン、牛肉と野菜、エビやカキなどの魚介類とサラダ、そして山ほどのデザートがテーブルに並びます。祖母はもう55年間ぐらい、毎年クリスマスランチを作ってくれて、祖母が台所に入ったら、ほかの人が入ることはできません。クリスマスのごちそうを食べながら、私は家族のみんなに、2015年のクリスマスを松浦で過ごしたことや、学校、周辺のまちの様子、太鼓、祭や日常生活の様子を写した写真を見せながら、日本で楽しい経験について話すことでしょ。そして、とにかく食べて、片づけて、昼寝をして、また食べるというのが、クリスマスの過ごし方です。

こんにちは！
外国語指導
助手です。



お正月は、たくさんの友達と久しぶりに会って、メルボルンの色々な所に行って、前の年の色々な出来事を話したり、写真を見せ合ったり、笑い合ったりして、年明けの花火と一緒に見ます。

オーストラリアに帰国して、家族や友だちと過ごす時間は、きっと楽しいと思います。同じくらい松浦に戻って、皆さんと一緒に過ごして、もっといろいろな思い出を作ることを楽しみにしています。

皆さん、今年もよろしく
お願いします。



▲ クリスマスケーキ



▲ オーストラリアのクリスマス ▲ シドニーのカウントダウン



図書館の
おすすめ

BOOK
本

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)



『その靴、痛くないですか？
—あなたにぴったりな靴の見つけ方』
西村泰紀/著 飛鳥新社

足にトラブルを抱えている人、自分に合う靴を探すのが大変な人、そんなあなたに、「正しい靴の選び方」を紹介する本が届きました。靴の中敷き調整で足と靴のトラブルを解消する“靴は売らない靴屋”店主による、すぐに実行できる靴選びのアドバイスです。



『ざざ虫
—伊那谷の虫を食べる文化』
松沢陽士/写真・文 フレーベル館

表紙を見て驚く人がいるかもしれませんが、これは“ざざ虫”という長野県で食べられている虫。ざざ虫の漁、調理の方法、そして自分たちが暮らす地域の文化を継承するということ…。驚きがたくさん詰まった一冊です。あなたの周りの食文化を知るきっかけに。

松浦市立図書館は 40 歳になりました！



▲ 旧図書館が入っていた松浦市民会館
(「1982松浦市勢要覧」p.17)

*旧松浦市のあゆみを知りたい、過去の風景写真を探したい場合は、「市報」や「市勢要覧」をご利用ください。館内2階の「地域・行政コーナー」で提供しています。

明けましておめでとうございます。

旧松浦市に図書館が設置されて今年で40年になります。旧図書館は、現在の図書館の場所に立地していた松浦市民会館(昭和40年落成)の一隅にありました。昭和52年2月1日発行の「市報まつうら」に、「気軽にご利用を!! 待望の市立図書館 市民会館内に開館」の記事が見えます。同記事からは、閲覧室の広さが課題となっていたことや、開館時の蔵書数が約2千冊であったこと、蔵書を充実させるため市民に寄贈を呼び掛ける“献本運動”を実施していたことが分かります。

「四十にして惑わず」ということばがありますが、図書館は“市民のための図書館づくり”を目標として試行錯誤の毎日です。皆様のご利用が図書館を成長させますので、今年もぜひ足をお運びください。先に引用した記事の一文を紹介して、今年初回の記事を締めくくりにします。「図書館はあなたの書斎です」。